

第86回

日本社会学会大会

第一日 2013年10月12日(土)

第二日 2013年10月13日(日)

—開催校—

慶應義塾大学(三田キャンパス)

大会次第

日時	研究発表	総会・役員会等	会場
10月11日(金) 10:30～13:00 11:00～13:00 13:00～17:00 13:15～17:30 17:30～19:30		社会学教育委員会 三役打ち合わせ 理事会 英語ワークショップ 拡大評議員会	研究室棟1階B会議室 研究室棟1階A B会議室 研究室棟1階A B会議室 南校舎475教室(予備:476教室) 研究室棟1階A B会議室
10月12日(土) 8:30～ 9:30～12:30 12:00～12:50 12:30～13:10 13:20～14:20 14:20～14:30 14:30～15:10 15:20～18:20 15:20～18:20 18:30～20:00	受付開始 一般研究報告(1) 日本社会学会会長講演 一般研究報告(2) 招待講演	三役打ち合わせ会 研究活動委員会 国際交流委員会(ランチミーティング) IJJS編集委員会 常任社会学評論編集委員会 データベース委員会 財務委員会 総会 学会奨励賞表彰式 懇親会	西校舎1階玄関ホール 各教室 西校舎525-C教室 西校舎525-A教室 研究室棟1階A B会議室 研究室棟地下1階第二会議室 研究室棟地下1階第三会議室 研究室棟1階研究室会議室 西校舎521教室 西校舎517教室 西校舎517教室 西校舎517教室 各教室 西校舎528教室 西校舎地下1階生協食堂
10月13日(日) 9:30～12:30 9:30～12:30 10:00～12:30 11:00～ 12:30～13:10 13:10～13:50 14:00～17:30	一般研究報告(3) 日中ジョイントパネル ポスターセッション ISA副会長講演 日本学術会議シンポジウム シンポジウム1 シンポジウム2	日本学術会議シンポジウム打ち合わせ シンポジウム1打ち合わせ シンポジウム2打ち合わせ 拡大社会学評論編集委員会 倫理委員会 世界社会学会議組織委員会 世界社会学会議評議員会	各教室 西校舎519教室 第一校舎133教室 研究室棟地下1階第一会議室 研究室棟地下1階第二会議室 研究室棟地下1階第三会議室 西校舎525-A教室 研究室棟1階研究室会議室 西校舎521教室 研究室棟1階A B会議室 西校舎517教室 西校舎526教室 西校舎527教室 西校舎528教室

大会次第・備考

1. 大会参加費	一般会員 6,000 円	大学院生・学生会員 4,000 円
	一般非会員 7,000 円	大学院生・学生非会員 4,500 円
懇親会費	一般 5,000 円	大学院生・学生 3,000 円

大会参加費と懇親会費の事前納入（大会参加費は事前納入の場合 1000 円割引）を受け付けております。同封の別紙をご覧ください。（※懇親会費は、会費減額措置を受けている常勤職にない会員については院生と同額となります。）

なお、学会大会当日の受付は、たいへんな混雑が予想されます。事前納入にご協力をお願いいたします。

2. 受付は西校舎玄関ホールです。受付後、必ず名札をご着用くださいますようお願いいたします。大会の運営上、名札をご着用になっていない場合に会場係が確認をさせていただくことがあります。

3. 抜き刷り・報告資料交換コーナーを第一校舎 121 教室（会員控室と同じ部屋です）に設置いたします。参加者は論文抜き刷りや報告資料の残部などを置くことができます。出版社などが書籍・雑誌を展示販売する書籍・雑誌コーナーは、第一校舎 123 教室にあります。

4. 会員控室は第一校舎 121 教室です。クロークは西校舎 523-B 教室でございます。大会本部は 522 教室です。

5. 託児スペースを西校舎 523-A 教室に用意しております。

6. 10月12日(土)は午後2時まで、生協食堂・山食・生協売店が営業しております。ご利用ください。13日(日)はキャンパス内の飲食施設は営業しておりません。大学周辺の飲食店・コンビニエンスストアをご利用ください。

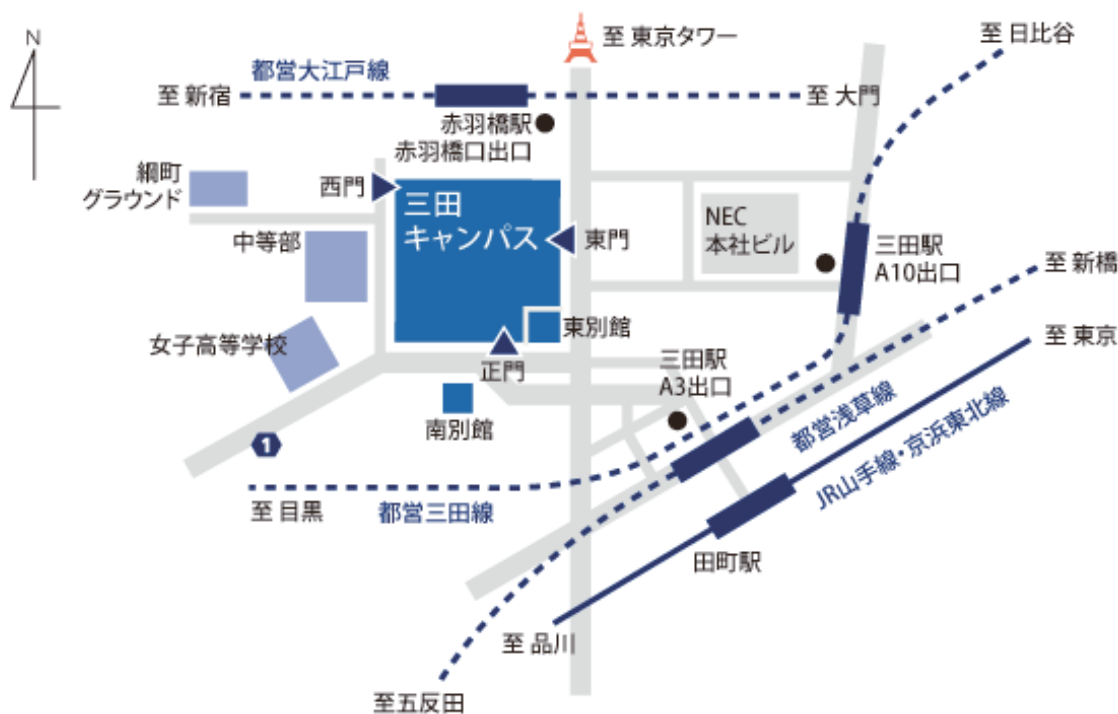
7. プログラムの修正・変更、報告要旨などについては学会ホームページの大会情報ページをご参照ください。
・日本社会学会 大会情報ページ：<http://www.gakkai.ne.jp/jss/2013/10/12100000.php>

8. 大会開催校の連絡先：jss2013@ml.keio.jp

会場（慶應義塾大学・三田キャンパス）までの交通アクセス

JR 田町駅（山手線、京浜東北線）、都営地下鉄三田駅（浅草線、三田線）、都営地下鉄赤羽橋駅（大江戸線）より、いずれも徒歩7分ほどです。新幹線でご到着の場合は、東京駅、品川駅より JR 山手線あるいは京浜東北線で田町駅まで、それぞれ約10分（東京－田町）、約2分（品川－田町）です。飛行機でご到着の場合、羽田空港から京急（都営浅草線直通）で三田駅まで約30分、モノレールをご利用の場合は、浜松町で JR 山手線、京浜東北線に乗り換え田町駅まで約30分です。なお大会2日目の10月13日（日）は休日のため正門のみ利用可能です。赤羽橋駅からは徒歩約10分かかります。ご注意ください。

■開催校周辺マップ



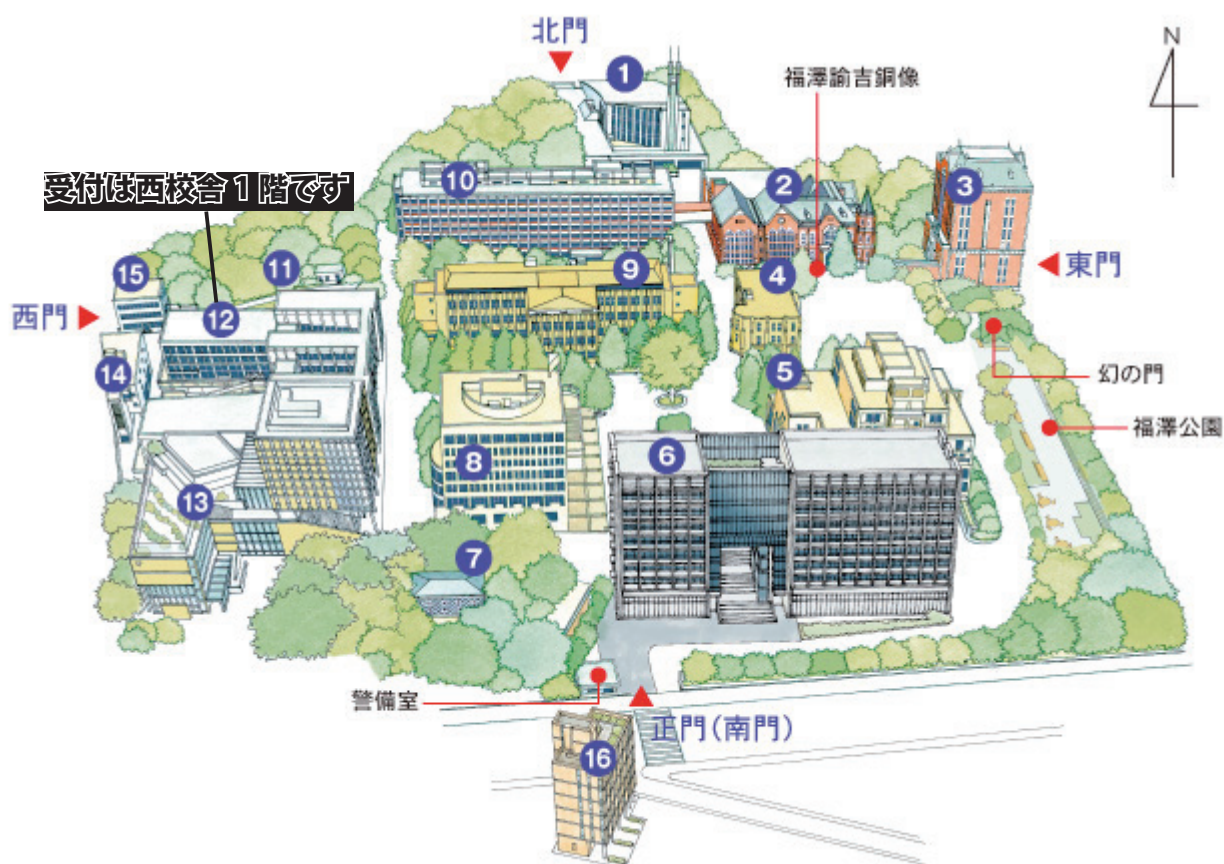
■主要駅からのアクセス

東京駅	JR山手線・JR京浜東北線	田町駅
所要時間約10分		
新宿駅	JR山手線（渋谷・品川方面行き）	田町駅
所要時間約25分		

■空港からのアクセス

羽田空港	東京モノレール	浜松町駅	JR山手線・JR京浜東北線	田町駅
所要時間約20分		所要時間約5分		
運賃：約600円				
成田空港	京成スカイライナー	日暮里駅	JR山手線・JR京浜東北線	田町駅
所要時間約40分		所要時間約20分		
成田空港	成田エクスプレス	品川駅	JR山手線・JR京浜東北線	田町駅
所要時間約70分		所要時間約5分		
運賃：約2500～3500円				

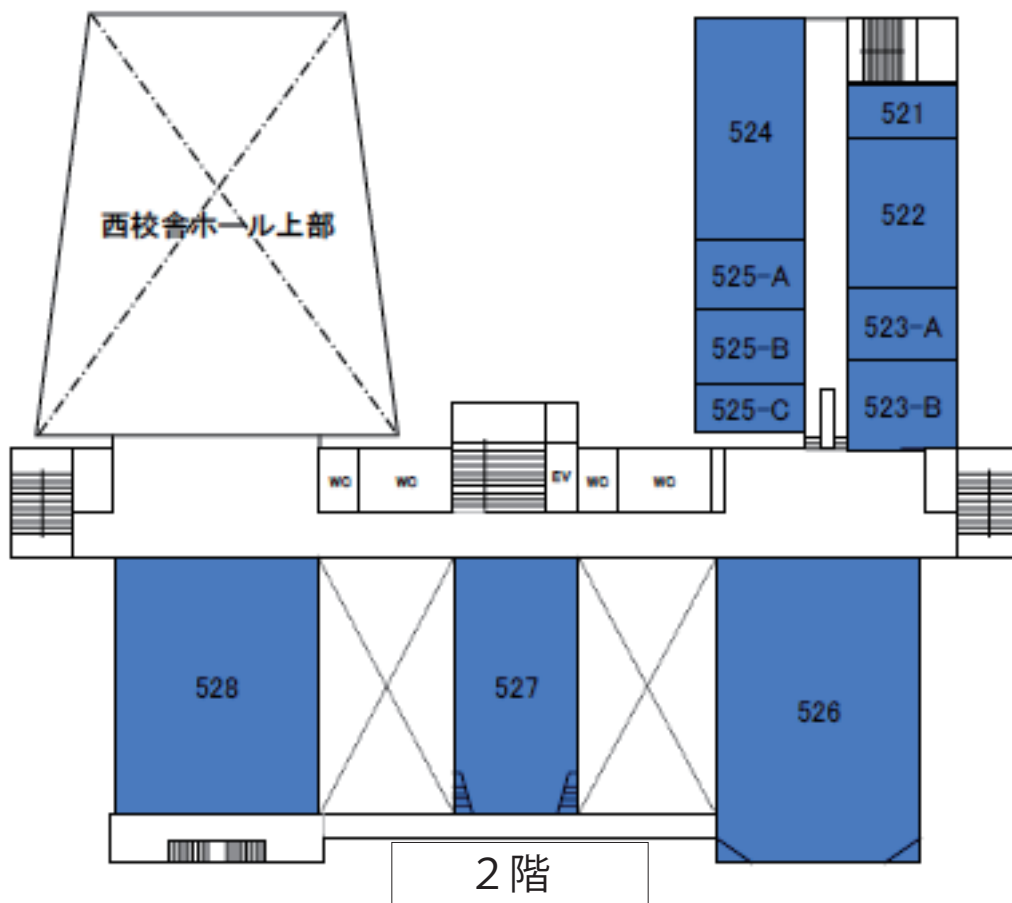
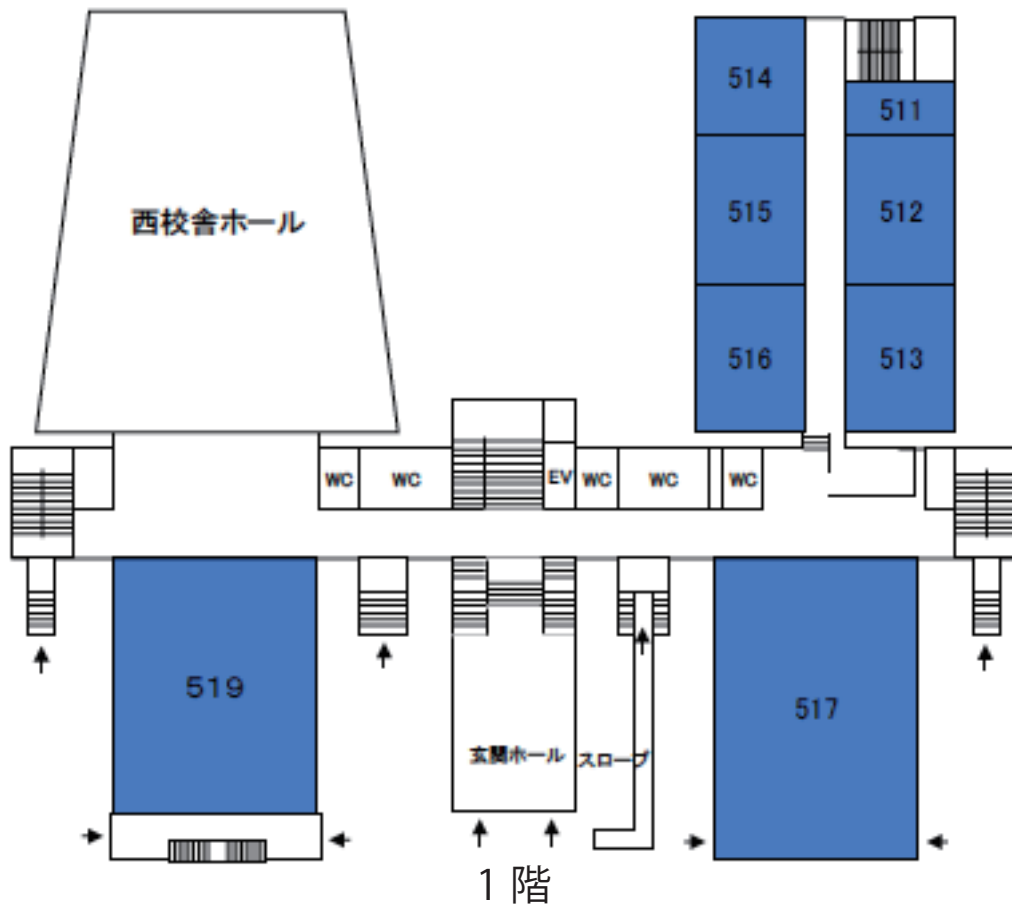
慶應義塾大学 三田キャンパス 案内図



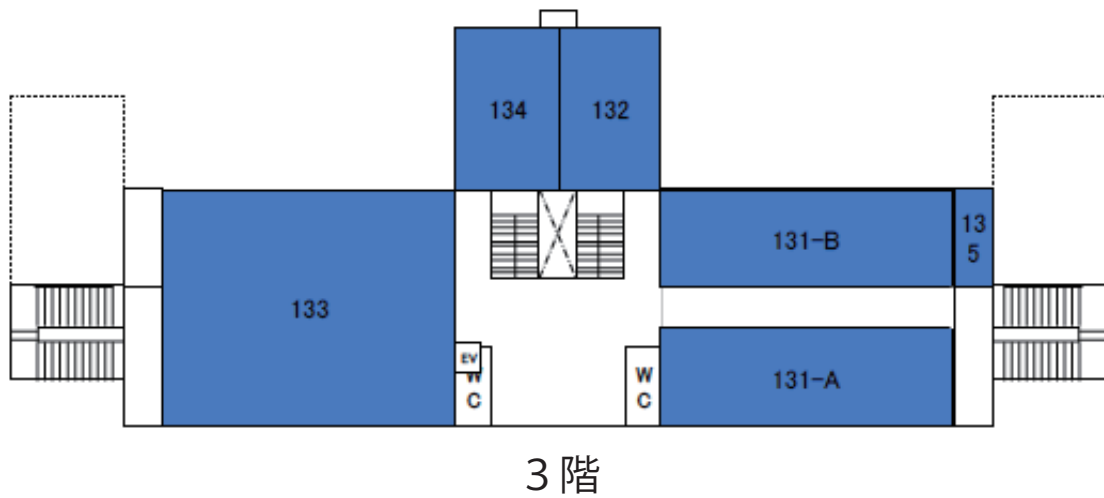
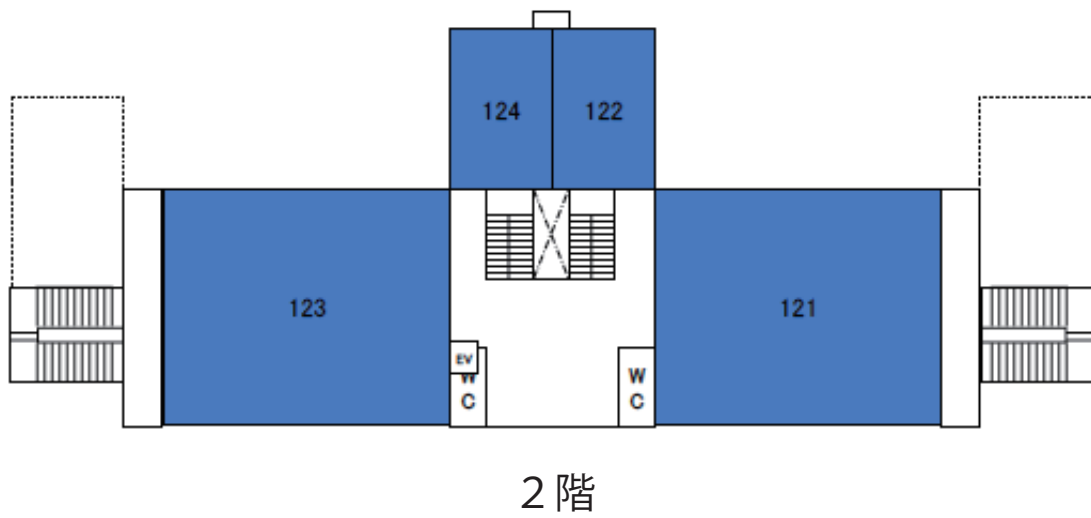
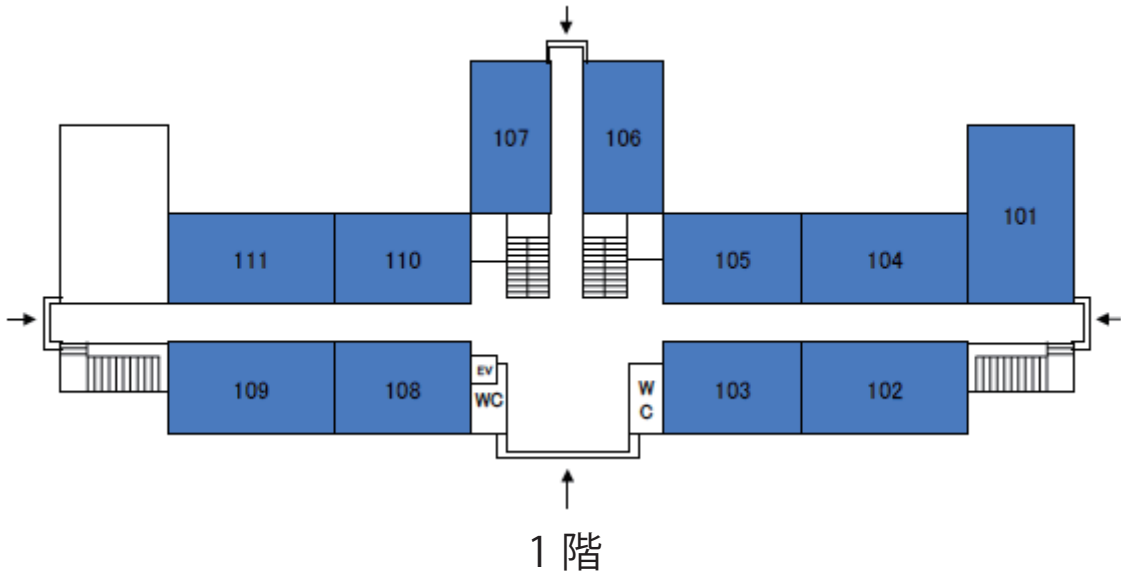
10月13日(日)は東門・北門は閉鎖されています。正門をご利用ください。

- 【1】 北館：大会議室、ホール、ファカルティクラブ
- 【2】 図書館旧館：大会議室、小会議室
- 【3】 東館：ホール、G-SEC Lab
- 【4】 塾監局
- 【5】 図書館
- 【6】 南校舎：411-477、ホール、ザ・カフェテリア
- 【7】 三田演説館
- 【8】 大学院校舎：311-375B
- 【9】 第1校舎：101-147、外国語教育研究センター
- 【10】 研究室棟
- 【11】 労働組合本部
- 【12】 西校舎：501-545、ホール、山食、学生食堂（生協）
- 【13】 南館：2B11-2B42
- 【14】 生協購買部
- 【15】 西館
- 【16】 南別館：アート・スペース

慶應義塾大学 三田キャンパス 西校舎平面図



慶應義塾大学 三田キャンパス 第一校舎平面図



研究報告をおこなううえでの注意事項

1. 共通事項

- 万が一報告をキャンセルする場合は、すみやかに学会事務局（jss@sociology.gr.jp）と大会本部（jss2013@ml.keio.jp）に連絡してください。
- タイトルと報告内容は申込時のものから変更できません。
- 部会終了時に配布資料が残った場合は、報告者が持ち帰ってください。会員控室（第一校舎 121 教室）に設けられた「抜き刷り・報告資料交換コーナー」に置いて配布することもできます。
- 開催校でのコピーサービスはありません。

2. 自由報告（一般研究報告 I）、テーマセッション（一般研究報告 III）での報告

- 部会開始時間の 5分前までに会場に集合して、司会者と打ちあわせをしてください。
- 報告時間は各報告 15分で、そのあとに質疑応答が数分あります。原則として、報告開始後 10 分で第一ベル、15 分で第二ベルが鳴ります。
- 配布するレジュメや資料のコピーは、報告時に 最低 50 部、適宜余部を用意してください。追加資料を配布することもできます。残部は、途中参加者がとりやすい所に積むようにしてください。
- プロジェクトの利用をされる場合は、ご自身でパソコンをご持参ください。
- 会場には、プロジェクトとパソコン接続用ケーブル（Mini D-sub15 ピン）が備わっております（Mac をご利用の場合はコネクタないしアダプタをお持ち下さい）。
- 部会開始 15分前に会場にお越しいただき、接続・動作の確認など機器の準備をしてくださるようお願いいたします。また、機器に不具合はつきものですので、万が一に備えて、機器なしでも滞りなく発表できるようにご自身でご準備ください。
- 特に、テーマセッション、研究チームでのご報告のような場合には、円滑な進行を図る意味でも、事前に報告者間で連絡調整をしてくださいますようお願いいたします。
- その他部会の進行については、司会者の指示にしたがってください。

3. ポスターセッション（一般研究報告 II）での報告

- 部会開始時間の 10分前までに会場に集合して、監督者と打ちあわせをしてください。
- ポスターの掲示スペースは、幅 90cm、高さ 120cm 程度です（A0 判が入ります）。
- ポスターの掲示場所は、プログラムに基づいて割りふられています。
- 報告時間は 2 時間 30 分です。時間中は基本的にポスターの前において、質疑応答を行ってください。やむを得ない事情でポスターから長時間離れる場合は、かならず監督者にその旨伝えてください。無断で長時間不在の場合、報告が取り止めとされることがあります。
- 資料を配布することもできます（最低 50 部用意することをつよく推奨します）。
- その他部会の進行については、監督者の指示にしたがってください。

部会一覧

教室番号	10月12日(土)		10月13日(日)
	9:30～12:30	15:20～18:20	9:30～12:30
	一般研究報告(1)	一般研究報告(2)	一般研究報告(3)
【第一校舎】 101	テーマセッション「マイノリティによるトランスナショナル・ネットワークの実証研究」	テーマセッション「ブルデュー以後の社会学」	テーマセッション「メディアとしてのマンガ」研究と社会学
102	テーマセッション「社会学理論への時代の要請／時代の要請の社会学理論」	テーマセッション「ソーシャル・キャピタル論のフロンティア」	テーマセッション「歴史のなかの貧困と社会的包摂」
103	学史・学説(1)	学史・学説(2)	学史・学説(3)
104	階級・階層・移動(1)(社会階層と健康)	階級・階層・移動(2)(JLPSの分析)	社会病理・逸脱(2)
105	理論	研究法・調査法(1)(現代エスノグラフィーの理論と実践)	研究法・調査法(2)
106	家族(1)	家族(2)	家族(3)
107	都市(1)	都市(2)(都市とコミュニティ)	地域社会・地域問題(2)
108	地域社会・地域問題(1)	産業・労働・組織(1)	産業・労働・組織(2)(労働・階層)
109	社会運動(1)	社会運動(2)	社会運動(3)(3.11以降の運動)
110	知識・科学	宗教	歴史・社会史・生活史(2)
111	研活テーマセッション「希望なき幸福? 若者の現在状況を問いかえす」	研活テーマセッション「リスク社会論再訪」	環境
122	社会病理・逸脱(1)	教育(1)	教育(2)
124	福祉・保健・医療(1)(精神医療・主観的健康)	福祉・保健・医療(3)	福祉・保健・医療(4)(支援の社会学)
131-A	災害(1)(東日本大震災後の日本社会)	災害(3)(原発事故)	災害(4)(東日本大震災の被災地域)
131-B	災害(2)	文化・社会意識(2)(芸術と余暇)	文化・社会意識(4)(記憶・体験)
132	文化・社会意識(1)(消費社会・サブカルチャー)	文化・社会意識(3)	文化・社会意識(5)
133			ポスターセッション(10時00分～12時30分)
134	福祉・保健・医療(2)	歴史・社会史・生活史(1)	福祉・保健・医療(5)
【西校舎】 512	性・ジェンダー(1)(ジェンダーをめぐる語り)	性・ジェンダー(2)(ジェンダーと運動)	性・ジェンダー(3)
513	民族・エスニシティ(1)	民族・エスニシティ(2)	民族・エスニシティ(3)
514	English Session(1)(Politics and Economics)	English Session(3)(Care and Population)	English Session(5)
515	国際・エリアスタディーズ(1)	国際・エリアスタディーズ(2)	国際・エリアスタディーズ(3)
516	English Session(2)(Social Movements)	English Session(4)	English Session(6)(Culture)
519	研活企画フォーラム「『住宅』の社会学の回顧と展望——団地研究を切り口として」	研活企画フォーラム「社会学と文学のあいだ」	日中ジョイントパネル「日中における社会学と社会の現在」
527	子ども・青年・中高年(1)(現代青少年の文化と意識)	子ども・青年・中高年(2)(子育て支援の比較研究)	民族・エスニシティ(4)
528		招待講演	

研究報告題目

第一日 (10月12日)

一般研究報告 (1) (9時30分～12時30分)

学史・学説 (1)	教室 司会者	第一校舎 森 元孝 (早稲田大学)	103				
1. 社会哲学 (M・ヴェーバー 1864-1920)・社会人類学 (フレイザー 1854-1941、マリノフスキー 1883-1942)・社会 (的存在の) 存在論 (ルカーチ 1885-1971)		東京情報大学	石 塚 省 二	30			
2. 「没価値性」受容の拒否		日本大学	竹 内 弓 恵	31			
3. ゲオルク・ジンメルの個人と社会		東京大学	高 橋 幸	32			
4. ルーマンにおける社会の存在論的地位		大阪大学	下 山 惣 太 郎	33			
5. 「バイトの面接」における万引き犯とは誰か?		京都大学	小 林 伸 行	34			
6. ニクラス・ルーマンの「構成主義」における「時間」の問題		神戸大学	梅 村 麦 生	35			
理論	教室 司会者	第一校舎 亘 明志 (長崎ウエスレヤン大学)	105				
1. マクルーハンによる「ホット/クール」概念の批判		東京大学	青 山 賢 治	36			
2. 後期ボードリヤールの社会理論の社会学的検討		信州大学	水 原 俊 博	37			
3. ジョルジュ・バタイユにおける社会学とその使用方法についての考察		大阪大学	田 口 了 麻	38			
4. 「マンガの中の時間——思想的視点から」		京都大学	銭 廣 承 平	39			
5. 近代的時間を内在的に批判する		慶應義塾大学	鳥 越 信 吾	40			
6. 社会理論の遺伝子 - 文化共進化理論的展開		日本女子大学	三 原 武 司	41			
家族 (1)	教室 司会者	第一校舎 嶋崎 尚子 (早稲田大学)	106				
1. ステップファミリーの子どもたち調査 (1)		○大阪産業大学 明治学院大学	菊 地 真 理 野 沢 慎 司	42			
2. ステップファミリーの子どもたち調査 (2)		○明治学院大学 大阪産業大学	野 沢 慎 司 菊 地 真 理	43			
3. 共働き家庭の父親のワーク・ファミリー・バランス		○追手門学院大学 京都華頂大学 国立社会保障・人口問題研究所	善 積 京 子 斧 出 節 子 釜 野 さ お り	44			
4. 夫の夫婦関係満足度の規定要因に関する分析		大阪大学 佛教大学 京都大学	高 橋 美 恵 子 松 田 智 子 永 瀬 圭 45				
5. 婚前妊娠結婚の動向と既婚女性の働き方への影響		○国立社会保障・人口問題研究所 国立社会保障・人口問題研究所	岩 澤 美 帆 鎌 田 健 司	46			

都市 (1)	教室 司会者	第一校舎 107 丸山 真央 (滋賀県立大学)		
1. 管理表示・管理放送の増加とその効果に関する研究		札幌大谷大学	西 脇 裕 之 47	
2. 都市住宅における商品化の焦点		東京大学	山 本 理 奈 48	
3. 都市空間の公共性をめぐって		UG 都市建築	竹 内 光 博 49	
4. ドキュメンタリーの〈都市〉へのまなざし		法政大学	丸 山 友 美 50	
5. 若年無業者支援の現状——地域若者サポートステーションの支援を通して		東洋大学	小 川 祐 喜 子 51	
6. 岐路に立つあいりん地域の多層的セーフティネット		大阪市立大学	白 波 瀬 達 也 52	

地域社会・地域問題 (1)	教室 司会者	第一校舎 108 渡戸 一郎 (明星大学)		
1. 相同システムとしての人間の脳とコミュニティ		金沢大学	二 宮 哲 雄 53	
2. 岐路に立つ大分県由布院：温泉旅館の経営とまちづくりの活動		名古屋大学	王 昊 凡 54	
3. 岐路に立つ大分県湯布院：市町村合併がもたらした「問題」と社会関係の変質		名古屋大学	石 橋 康 正 55	
4. 沖縄的共同性と階層 (1)		○社会理論・動態研究所 大阪市立大学 龍谷大学	打 越 正 行 56 上 原 健 太 郎 彦	
4. 沖縄的共同性と階層 (2)		○大阪市立大学 龍谷大学	上 原 健 太 郎 彦 57 岸 政 彦	
4. 沖縄的共同性と階層 (3)		社会理論・動態研究所 ○龍谷大学 社会理論・動態研究所 大阪市立大学	打 越 正 行 岸 政 彦 58 打 越 正 行 上 原 健 太 郎	

階級・階層・移動 (1) (社会階層と健康)	教室 司会者	第一校舎 104 浜田 宏 (東北大学)		
1. 社会階層と健康 (1)		東北学院大学	神 林 博 史 59	
2. 社会階層と健康 (2)		北星学園大学	中 田 知 生 60	
3. 社会階層と健康 (3)		東北学院大学	片 瀬 一 男 61	
4. 社会階層と健康 (4)		相模女子大学	中 西 泰 子 62	
5. 社会階層と健康 (5)		関西学院大学	盛 山 和 夫 63	

社会運動 (1)	教室 司会者	第一校舎 109 高田 昭彦 (成蹊大学)		
1. 1960年代学生運動再考		東北大学	小 杉 亮 子 64	
2. 日本の過重債務運動における戦略と展開		金城学院大学	大 山 小 夜 65	
3. 社会運動と「逮捕」		東京大学	富 永 京 子 66	
4. 反貧困運動と行為者の形成		茨城大学	稲 葉 奈 々 子 67	
5. 寄場労働者の空間占拠の社会的・想像的な基礎		首都大学東京	林 真 人 68	
6. オキュパイ運動の「ユートピア」		ニュースクール・フォー・ ソーシャルリサーチ	中 川 圭 69	

災害 (1) (東日本大震災後の日本社会) 教室 第一校舎 131-A
司会者 青柳みどり (国立環境研究所)

- | | | | | |
|---------------------------------|------------------|-----------|----|----|
| 1. 全国調査／被災3県調査からみる大震災後の日本社会① | 学習院大学 | 遠藤 | 薫 | 70 |
| 2. 全国調査／被災3県調査からみる大震災後の日本社会② | 小樽商科大学 | 佐藤 | 雅浩 | 71 |
| 3. 全国調査／被災3県調査からみる大震災後の日本社会③ | 東洋大学 | 関谷 | 直也 | 72 |
| 4. 全国調査／被災3県調査からみる大震災後の日本社会④ | 甲南大学 | 阿部 | 真大 | 73 |
| 5. 集団高台移転事業における地域社会の「再編」を問う (1) | ○法政大学
神戸女学院大学 | 西城戸
武中 | 誠桂 | 74 |
| 6. 集団高台移転事業における地域社会の「再編」を問う (2) | ○長崎大学
北海道大学 | 黒田
平川 | 暁機 | 75 |
| 7. 東日本大震災における被害と将来不安感の構造 | 立教大学 | 村瀬 | 洋一 | 76 |

災害 (2) 教室 第一校舎 131-B
司会者 宮内 泰介 (北海道大学)

- | | | | | |
|------------------------|---------|----|----|----|
| 1. 東日本大震災後の不眠と所得格差との関係 | 立教大学 | 三澤 | 仁平 | 77 |
| 2. 震災と閉塞する都市コミュニティ | 鹿児島大学 | 菱山 | 宏輔 | 78 |
| 3. 「終焉」後のボランティアの一樣帯 | 日本学術振興会 | 溝口 | 佑爾 | 79 |
| 4. 雲仙普賢岳噴火災害の犠牲者と行政計画 | 早稲田大学 | 中村 | 清美 | 80 |

知識・科学 教室 第一校舎 110
司会者 大谷 信介 (関西学院大学)

- | | | | | |
|------------------------------|-----------------------|---------------|--------------|----|
| 1. 重なり合う合意の事例分析 | 東京大学 | 額賀 | 淑郎 | 81 |
| 2. 構造分析と〈内からの読み〉の方法論的比較研究 | 立命館アジア太平洋大学 | 清家 | 久美 | 82 |
| 3. 投稿論文の審査過程で生まれた知の帰属に関する一考察 | ○金沢大学
金沢大学
金沢大学 | 工藤
轟
歸山 | 直志
亮
紀 | 83 |
| 4. 知識と社会的文脈 | 一橋大学 | 熊谷 | 有理 | 84 |
| 5. 社会学の方法・引用文化の日米英比較 | ○京都大学
京都大学 | 山本
太郎 | 耕平
丸博 | 85 |

文化・社会意識 (1) (消費社会・サブカルチャー) 教室 第一校舎 132
司会者 宮台 真司 (首都大学東京)

- | | | | | |
|---------------------------------|---------|-----------------------------|-------------|----|
| 1. 消費社会論から見た「80年代」 | 東京大学大学院 | 鈴木 | 洋仁 | 86 |
| 2. プリティッシュ・エイジアン音楽のジャンル性をめぐる一考察 | 東京大学 | 栗田 | 知宏 | 87 |
| 3. 電子メディア時代の紙メディアについての一考察 | 大阪大学 | 東園 | 子 | 88 |
| 4. コスプレ文化におけるキャラクターの役割 | 神戸大学 | エルナンデス・
ルナンデス・
ルバロダビド | エ
ア
ド | 89 |
| 5. 男性アイドルの関係性に友情構造を求める女性達 | 東京大学 | 陳 | 怡禎 | 90 |

社会病理・逸脱 (1)

教室 第一校舎 122
司会者 佐藤 哲彦 (関西学院大学)

- | | | | | | |
|----------------------------|-----------------|----------|----------|----------|----|
| 1. ダルクにおける「回復」の社会学的検討Ⅱ (1) | ○東京大学
四天王寺大学 | 伊平
藤井 | 秀秀
秀幸 | 樹幸
幸樹 | 91 |
| 2. ダルクにおける「回復」の社会学的検討Ⅱ (2) | ○四天王寺大学
東京大学 | 平井
伊藤 | 秀秀
秀樹 | 幸樹
樹 | 92 |
| 3. ダルクにおける「回復」の社会学的検討Ⅱ (3) | 東京大学 | 森 | 一 | 平 | 93 |
| 4. ダルクにおける「回復」の社会学的検討Ⅱ (4) | 成城大学 | 南 | 保 | 輔 | 94 |
| 5. ダルクにおける「回復」の社会学的検討Ⅱ (5) | 中央大学大学院 | 相良 | | 翔 | 95 |
| 6. ダルクにおける「回復」の社会学的検討Ⅱ (6) | 浦和大学 | 中村 | 英 | 代 | 96 |

福祉・保健・医療 (1) (精神医療・主観的健康)

教室 第一校舎 124
司会者 山田 富秋 (松山大学)

- | | | | | |
|------------------------------------|----------|----|----|-----|
| 1. 精神医療技術を通じた自己形成に関する社会学的研究 | 東京大学大学院 | 櫛原 | 克哉 | 97 |
| 2. 精神科診療所の歴史と現状の研究 | 滋賀県立大学 | 中村 | 好孝 | 98 |
| 3. 精神障害者と働かない生き方 | 東海学園大学 | 早野 | 禎二 | 99 |
| 4. 精神科医療による医療化の弊害の社会学的研究 | 県立広島大学 | 澤田 | 千恵 | 100 |
| 5. 精神科医療による被害の社会学的研究 | 薬害研究センター | 中川 | 聡 | 101 |
| 6. ソーシャル・キャピタルと主観的健康感の関連に関する国際比較研究 | 関西大学 | 赤枝 | 尚樹 | 102 |
| 7. 集団の社会関係資本が主観的健康に及ぼす影響 | 東北大学 | 鈴木 | 伸生 | 103 |

福祉・保健・医療 (2)

教室 第一校舎 134
司会者 井口 高志 (奈良女子大学)

- | | | | | | |
|-----------------------------|--|----------------|----------|---------|-----|
| 1. 在宅医療文化のビデオエスノグラフィー | ○神戸市看護大学
愛知学泉大学
総合在宅医療
クリニック
総合在宅医療
クリニック | 榎田
堀田
若林 | 美裕
秀樹 | 雄子
樹 | 104 |
| 2. ALSの人による「口文字盤」の社会的相互行為分析 | 北星学園大学 | 水川 | 喜文 | 105 | |
| 3. 介護者の多様性を知ることが介護者にもたらす影響 | 東京大学大学院 | 石島 | 健太郎 | 106 | |
| 4. 医師 - 患者の信頼関係はどのように構築されるか | 首都大学東京 | 包 | 暁蘭 | 107 | |
| 5. 介護の社会化と被介護者の生活世界 | 北海道大学 | 竹中 | 健 | 108 | |
| 6. 病の治療が身体観に及ぼす影響についての研究 | 千葉健愛会 | 友松 | 郁子 | 109 | |
| 7. 国立療養所大島青松園とモロカイ療養所の未来 | 成城大学 | 小坂 | 有資 | 110 | |

性・ジェンダー (1) (ジェンダーをめぐる語り)

教室 西校舎 512
司会者 加藤 秀一 (明治学院大学)

- | | | | | |
|----------------------------------|--------|-----|-------|-----|
| 1. ジェンダーをめぐるコミュニケーション齟齬の研究 (1) | 首都大学東京 | 須 永 | 将 史 | 111 |
| 2. ジェンダーをめぐるコミュニケーション齟齬の研究 (2) | 首都大学東京 | 左 古 | 輝 人 | 112 |
| 3. ジェンダーをめぐるコミュニケーション齟齬の研究 (3) | 首都大学東京 | 林 原 | 玲 洋 | 113 |
| 4. ジェンダーをめぐるコミュニケーション齟齬の研究 (4) | 千葉大学 | 鶴 田 | 幸 恵 | 114 |
| 5. トランスジェンダーの親の当事者理解と関係性構築に関する研究 | 首都大学東京 | 石 井 | 由 香 理 | 115 |

子ども・青年・中高年 (1) (現代青少年の文化と意識)

教室 西校舎 527
司会者 伊奈 正人 (東京女子大学)

- | | | | | |
|---------------------------------------|---------|-----|-------|-----|
| 1. 現代青少年の文化と意識 (1) 音楽へのコミットメントと文化的寛容性 | 桃山学院大学 | 木 島 | 由 晶 | 116 |
| 2. 現代青少年の文化と意識 (2) 恋愛関係の諸相 | 日本女子大学 | 木 村 | 絵 里 子 | 117 |
| 3. 現代青少年の文化と意識 (3) 友人関係の変容 | 中央大学 | 辻 | 泉 | 118 |
| 4. 現代青少年の文化と意識 (4) メディアと生活の相互関係の変容 | 桃山学院大学 | 阪 口 | 祐 介 | 119 |
| 5. 現代青少年の文化と意識 (5) 自己啓発書を読むことと自己意識の関係 | 日本学術振興会 | 牧 野 | 智 和 | 120 |
| 6. 現代青少年の文化と意識 (6) 経済的成功に対する考えの特徴と変化 | 国際大学 | 寺 地 | 幹 人 | 121 |

民族・エスニシティ (1)

教室 西校舎 513
司会者 都築 くるみ (愛知学泉大学)

- | | | | | |
|----------------------------------|-------------------------------|------------|------------|-----|
| 1. ネイティブ・アメリカンと貧困 | 日本大学 | 武 井 | 勲 | 122 |
| 2. 在日・在韓・在台のムスリム移動者における就業行動の関連要因 | 早稲田大学 | 小 島 | 宏 | 123 |
| 3. イスラム教への改宗と「祖国」 | 立命館大学 | 木 下 | 昭 | 124 |
| 4. アフリカにおける民族 | 青山学院大学 | 服 部 | 浩 昌 | 125 |
| 5. モンゴル国におけるナショナル・アイデンティティの計量的検討 | 立命館大学 | 湊 | 邦 生 | 126 |
| 6. アイヌの社会的・政治的意識構造とその規定要因 | ○東京女学館大学
國學院大學北海
道短期大学部 | 濱 田
野 崎 | 国 佑
剛 毅 | 127 |

国際・エリアスタディーズ (1)

教室 西校舎 515
司会者 須藤 廣 (北九州市立大学)

- | | | | | |
|---------------------------------|----------------|---------------------------|-----|-----|
| 1. クリエイティブ・クラスの理論における「寛容性」とその限界 | 神戸大学 | 大 川 | 内 晋 | 128 |
| 2. 移行期正義プロジェクトを報道する難しさ | 大谷大学 | 阿 部 | 利 洋 | 129 |
| 3. バンコクの新興住宅地における地域共同管理の動向と課題 | ○福島大学
宇都宮大学 | 牧 田
KAEWMANOTHAM MALEE | 実 | 130 |
| 4. 「クール・ジャパン」の海外進出を支える国際労働移動 | 一橋大学 | 藤 岡 | 伸 明 | 131 |
| 5. 北部イタリアにおける日本人ゲストワーカー | 大正大学 | 澤 口 | 恵 一 | 132 |
| 6. バックパッキングとメディア | 桐蔭横浜大学 | 大 野 | 哲 也 | 133 |
| 7. 自然資源を開くもうひとつの経路 | 京都大学 | 北 島 | 義 和 | 134 |

English Session (1)(Politics and Economics)

Place : 西校舎 514

Chairperson:Hideki Tarumoto(Hokkaido University)

- | | | | |
|--|-------------------------------|--|-----|
| 1.The impact of financial crisis on unemployment among immigrants in Japan | Sophia University | Hirohisa Takenoshita | 135 |
| 2.Between Hierarchy and Market | University at Albany | D a n X u | 136 |
| 3.Comparative Regional Analysis of Governance | Tokyo Metropolitan University | A r i k o O t a | 137 |
| 4.A policy change and local activation | ○Shizuoka university | Hiroyasu Nagata
Y u k a N a g a t a | 138 |
| 5.Community under Development in Southeast Asia | Keio University | S a c h i o I s h i d a | 139 |
| 6.Democratizing the political culture | University of Tokyo | H s i a o , M i n - Y u e | 140 |

English Session (2)(Social Movements)

Place : 西校舎 516

Chairperson:Daishiro Nomiya(Sophia University)

- | | | | |
|--|----------------------------------|---------------------|-----|
| 1.Meaning and Frame Resonance in the Linkage of Social Movement Groups | Sophia University | R i s a M u r a s e | 141 |
| 2.Revisiting Affirmative Action in Contemporary India | Chuo University | M a y a S u z u k i | 142 |
| 3.Wearing "Our Sword" | Suffolk County Community College | Etsuko Maruoka | 143 |
| 4.Fear and Political Stigma | University of Cambridge | Ling-yu H s i a o | 144 |

マイノリティによるトランスナショナル・ネットワークの実証研究

(テーマセッション)

教室 第一校舎 101

司会者 石井 香世子 (東洋英和女学院大学)

- | | | | |
|---|----------------------------|-----------------------|-----|
| 1.Transnational Networks of South Asian Trading Communities | University of Malaya | Sathian Mala Rajo | 145 |
| 2.On the way to be Thai Muslims, or keeping their own way?: | Hiroshima Shudo University | Mineo TAKADA | 146 |
| 3.Migration Networks and Ethnic Resources | Thaksin University | Suttiporn Bunmak | 147 |
| 4."Thainess" of Thai migrant workers in small dried fish factory in Langkawi Island, Malaysia | Thaksin University | Klanarong Nisakorn | 148 |
| 5.Migration Networks among "Chinese" Migrant Workers from Thailand to Malaysia | T o y o E i w a University | K a y o k o I s h i i | 149 |

社会学理論への時代の要請／時代の要請の社会学理論
(テーマセッション)

教室 第一校舎 102
司会者 赤堀 三郎 (東京女子大学)

- | | | | |
|-------------------------------------|-------------|---------|-----|
| 1. 社会統合と個々人の自由の両立可能性 | 横須賀市立看護専門学校 | 流 王 貴 義 | 150 |
| 2. 現代社会における“strangeness”の語られ方 | 聖カタリナ大学 | 徳 田 剛 | 151 |
| 3. 隠喩としての社会学理論 | 慶應義塾大学 | 澤 田 唯 人 | 152 |
| 4. 批判的社会理論における「正当化」と理論実践 | 東京大学 | 出 口 剛 司 | 153 |
| 5. ハーバーマス『コミュニケーション的行為の理論』における社会学構想 | 東海大学 | 飯 島 祐 介 | 154 |
| 6. 機能分化と再帰的な公共圏の形成 | 東京工業大学 | 後 藤 実 | 155 |
| 7. 社会学用語の権威研究 | 武蔵大学 | 藤 田 哲 司 | 156 |

希望なき幸福？ 若者の現在状況を問いかえす
(研活テーマセッション)

教室 第一校舎 111
司会者 辻 大介 (大阪大学)

- | | | | |
|-----------------------|--------|-----------|-----|
| 1. 若者の幸福は「逆説」なのか | 東京学芸大学 | 浅 野 智 彦 | 157 |
| 2. 若者言説における心理学的知の作動 | 東京大学 | 小 川 豊 武 | 158 |
| 3. 「夢追いフリーター」へのまなざし | 早稲田大学 | 高 橋 か お り | 159 |
| 4. 多元化する自己とジェンダー | 首都大学東京 | 大 倉 韻 | 160 |
| 5. 「大人になること」の行き詰まりと模索 | 日本大学 | 久 保 田 裕 之 | 161 |

「住宅」の社会学の回顧と展望——団地研究を切り口として
(研活企画フォーラム)

教室 西校舎 519
コーディネーター 芳賀 学 (上智大学)

対話者：倉沢進 [サポート・玉野和志 (首都大学東京)]

企画者：平井太郎 (弘前大学)、祐成保志 (東京大学)、西野淑美 (東洋大学) 162

日本社会学会会長講演

教室 西校舎 517
日本社会学会会長 鳥越 皓之

163

第一日 (10月12日)

一般研究報告 (2) (15時20分～18時20分)

学史・学説 (2)	教室 司会者	第一校舎 中島 道男 (奈良女子大学)	
1. 18世紀フランスにおける「社会」の主題化とホップズ		首都大学東京	高橋 章子 164
2. フランスにおける国家の社会学		フランス国立高等研 究院/CNRS-GSRL	稲永 祐介 165
3. レイモン・ブードン社会学		近畿大学	山下 雅之 166
4. 社会学実践における価値判断の基準		首都大学東京	高橋 直也 167
5. 転位する観客		京都大学	富永 茂樹 168
6. 公平な観察を困難にする「憐れみ」について		東京工業大学	河合 恭平 169

研究法・調査法 (1) (現代エスノグラフィーの理論と実践)

	教室 司会者	第一校舎 宮内 洋 (高崎健康福祉大学)	
1. 現代エスノグラフィーの理論と実践 (1)		早稲田大学	平野 直子 170
2. 現代エスノグラフィーの理論と実践 (2)		一橋大学	荒井 悠介 171
3. 現代エスノグラフィーの理論と方法 (3)		早稲田大学	熱田 敬子 172
4. 現代エスノグラフィーの理論と実践 (4)		津田塾大学	北村 文 173
5. 現代エスノグラフィーの理論と実践 (5)		慶應義塾大学	井本 由紀 174
6. 現代エスノグラフィーの理論と実践 (6)		明治大学	藤田 結子 175

家族 (2)

	教室 司会者	第一校舎 西野 理子 (東洋大学)	
1. 家族構造と中学生の教育アスピレーション (1)		首都大学東京	稲葉 昭英 176
2. 家族構造と中学生の教育アスピレーション (2)		日本学術振興会	余田 翔平 177
3. 食生活調査にみる家族リアリティの変化：共食を中心に		城西国際大学	品田 知美 178
4. 食生活調査にみる家族リアリティの変化：食事スタイル・コミュニケーション・子ども		東京学芸大学	野田 潤 179
5. 食生活調査にみる家族リアリティの変化：健康・子ども・朝食信仰		東京大学	畠山 洋輔 180
6. ADHDの子をもつ母親の「適切な対応」をめぐる考察		大阪市立大学	佐々木 洋子 181

都市 (2) (都市とコミュニティ)

	教室 司会者	第一校舎 小内 透 (北海道大学)	
1. 産業都市刈谷の現在と地域コミュニティ形成		名古屋大学	丹辺 宣彦 182
2. まちの居場所終了要因の研究		立命館大学大学院	小辻 寿規 183
3. 自治体が運営するクラブチームが地域振興に与える影響		○滋賀大学 大阪大学	山下 悠 184 田口 了麻
4. 非集住地に居住する日系ブラジル人の生活展開		北陸学院大学	俵 希 實 185
5. ブラジル人移住労働者の生活構造におけるジェンダー要因の分析		○三重大学 三重大学 宮崎産業経営大学 サンパウロ大学	江成 久司 186 藤本 拓洋 福本 直洋

産業・労働・組織 (1)

教室 第一校舎 108
司会者 神林 博史 (東北学院大学)

- | | | | |
|------------------------------------|--------|---------|-----|
| 1. 雇用関係ルールに関する日中韓企業の比較研究 | 一橋大学 | 西 野 史 子 | 187 |
| 2. トランスナショナルなコミュニティの成立と制度企業家 | 上智大学 | 細 萱 伸 子 | 188 |
| 3. 高流動性社会における転職・解雇・倒産に対する社会的ネットワーク | 同志社大学 | 藤 本 昌 代 | 189 |
| 4. 男性労働者の問題性に関する一考察 | 立命館大学 | 田 中 慶 子 | 190 |
| 5. 専門職感情労働における対人関係の変容 | 慶應義塾大学 | 塚 田 聡 | 191 |

階級・階層・移動 (2) (JLPS の分析)

教室 第一校舎 104
司会者 太郎丸 博 (京都大学)

- | | | | |
|--------------------------------------|---------|-----------|-----|
| 1. パネルデータを用いた正規職 / 非正規職間賃金格差の日韓比較分析 | 東京大学 | 有 田 伸 | 192 |
| 2. 周辺構造モデルを用いた職場における訓練が賃金へ与える因果効果の推定 | 東京大学 | 小 川 和 孝 | 193 |
| 3. 初職非正規雇用が若年者キャリアに与える影響 | 東北大学 | 石 田 賢 示 | 194 |
| 4. 若年期における失業への不安感と教育・訓練および性別役割分業意識 | 聖カタリナ大学 | 長 尾 由 希 子 | 195 |
| 5. 結婚と将来への展望 | 首都大学東京 | 脇 田 彩 | 196 |
| 6. 結婚による性別役割意識の変容 | 福島大学 | 橋 本 撰 子 | 197 |

社会運動 (2)

教室 第一校舎 109
司会者 田中 滋 (龍谷大学)

- | | | | |
|-----------------------------|---------|---------|-----|
| 1. サードセクターとしての「市民セクター」の課題 | 地域開発研究所 | 松 元 一 明 | 198 |
| 2. 市民活動・NPO 研究の課題 | 首都大学東京 | 横 山 麻 衣 | 199 |
| 3. 市民活動・NPO 研究の課題 (2) | 首都大学東京 | 金 澤 良 太 | 200 |
| 4. 市民活動・NPO 研究の課題 (3) | 首都大学東京 | 小 山 弘 美 | 201 |
| 5. 「新しい社会運動」の美学的側面への考察 | 一橋大学 | 森 啓 輔 | 202 |
| 6. 社会運動におけるグローバルな意味とローカルな意味 | 上智大学 | 龍 野 洋 介 | 203 |

災害 (3) (原発事故)

教室 第一校舎 131-A
司会者 中澤 秀雄 (中央大学)

- | | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|-----|
| 1. 福島原発事故後の親子の生活と健康に関する調査 (1) | ○中京大学
福岡大学
中京大学
桃山学院大学 | 成 牛 松 阪
島 谷 口
元 佳 祐
哲 代 介 | 204 |
| 2. 福島原発事故後の親子の生活と健康に関する調査 (2) | ○中京大学
中京大学
福岡大学
桃山学院大学 | 松 成 牛 阪
谷 元 佳 祐
満 哲 代 介 | 205 |
| 3. 福島原発事故後の親子の生活と健康に関する調査 (3) | ○福岡大学
中京大学
中京大学
桃山学院大学 | 牛 成 松 阪
島 谷 口
佳 元 祐
代 哲 介 | 206 |
| 4. 原発避難による近隣関係の変化 | いわき明星大学 | 高 木 竜 輔 | 207 |
| 5. 高レベル放射性廃棄物をめぐるコミュニケーションのフレーム分析 | 東京大学 | 定 松 淳 | 208 |
| 6. エネルギー政策に関わる、政界・官界・財界と、一般市民の認識の差異 | 中国瀋陽師範学院 | 宮 内 紀 靖 | 209 |

文化・社会意識 (2) (芸術と余暇)	教室 司会者	第一校舎 131-B 小川 博司 (関西大学)		
1. クラシック音楽祭の鑑賞経験が中学生にもたらす効果		中京大学	相 澤	真 一 210
2. クラシック音楽祭観客にみる芸術至上主義の受容		京都大学	川 本	彩 花 211
3. ファッション・デザイナーの形象と布置		東京大学	小 形	道 正 212
4. 文化を創る		東京大学	清 原	悠 213
5. 余暇における能動性		関西学院大学	中 川	和 亮 214

文化・社会意識 (3)	教室 司会者	第一校舎 132 足立 重和 (追手門学院大学)		
1. 人びとを把握する		東京大学	團 康	晃 215
2. 「人とのつながり」が価値化する社会		上智大学	伊 賀	倫 子 216
3. 時間の社会学・再考		東京都市大学	塚 田	修 一 217
4. 模型文化の歴史社会学		大阪市立大学	松 井	広 志 218
5. 近代ファッションへの「憧れ」		一橋大学	内 海	咲 219

宗教	教室 司会者	第一校舎 110 大谷 栄一 (佛教大学)		
1. 宗教と国内人口移動・人口分布		拓殖大学	新 田 目	夏 実 220
2. 宗教への入信を後押しするものはなにか		日本大学	小 堀	真 221
3. ソーシャル・キャピタルとしての寺院の役割について		愛知大学	藤 喜	一 樹 222
4. 公有地上における宗教・民間信仰関連施設の分布に関する全国調査		國學院大學	塚 田	穂 高 223
5. 世俗化に直面する寺院の存続		北海道大学	熊	晋 224

教育 (1)	教室 司会者	第一校舎 122 矢野 泉 (横浜国立大学)		
1. 授業場面における“IRE”連鎖開始部の認識可能性について		○上越教育大学 京都大学	五 十 嵐 素 子 平 本 毅	225
2. 大学生の「いじめ」に関する価値意識の一考察		無所属	山 上	賢 一 226
3. 教員・公務員採用試験適性検査で問われるジェンダー意識		金沢大学	岩 本	健 良 227
4. 大学生の就職活動における友人関係の効用		大阪大学	辻 大	介 228
5. 新規大卒就職活動における大学生同士の関係と「やりたいこと」		大阪大学	妹 尾	麻 美 229

福祉・保健・医療 (3)	教室 司会者	第一校舎 124 樽川 典子 (筑波大学)		
1. 非対面のボランティア的行為における想像力と生きづらさ		九州大学大学院	吉 武	由 彩 230
2. 生活困窮者に対する「伴走型支援」の効果		北九州市立大学	稲 月	正 231
3. 児童自立支援施設と社会的排除		○尚綱学院大学 大阪府立大学 龍谷大学 福岡県立大学	内 田 龍 史 西 田 芳 正 妻 木 進 吾 堤 圭 史 郎	232
4. 社交不安障害からの〈回復〉とはどのようなことか		浜松学院大学	櫻 井	龍 彦 233
5. 不確実性の管理・運用と医療化		お茶の水女子大学	木 村	祐 子 234
6. 施設職員による利用者対応の抑圧性と揺らぎ		日本大学大学院	岡 田	祥 子 235
7. 事業志向的障害者運動における健常者の加入プロセス		名古屋大学大学院	伊 藤	綾 香 236

性・ジェンダー (2) (ジェンダーと運動) 教室 西校舎 512
司会者 釜野 さおり (国立社会保障・人口問題研究所)

- | | | | |
|--------------------------------|----------|---------|-----|
| 1. 韓国におけるトランスナショナルなフェミニスト連帯の形成 | お茶の水女子大学 | 徐 阿 貴 | 237 |
| 2. 女性運動史再考 | 首都大学東京 | 樋 熊 亜 衣 | 238 |
| 3. 連帯、それとも搾取? | 日本学術振興会 | 森 山 至 貴 | 239 |
| 4. 病理から同性婚へ | 早稲田大学 | 志 田 哲 之 | 240 |
| 5. 青少年期における同性愛に対する寛容性の形成 | 日本女子体育大学 | 石 原 英 樹 | 241 |

子ども・青年・中高年 (2) (子育て支援の比較研究)

教室 西校舎 527
司会者 天童 睦子 (名城大学)

- | | | | |
|-------------------------------|-------|---------|-----|
| 1. 都市の子育て支援環境の比較研究 | 北海道大学 | 金 子 勇 | 242 |
| 2. 社会的共通資本としての子育て支援施設の機能 | 北海道大学 | 遠 山 景 広 | 243 |
| 3. 少子社会における子育て支援ネットワークの日中比較研究 | 北海道大学 | 郭 莉 莉 | 244 |
| 4. 大都市における少子化と子育て支援の日韓比較研究 | 北海道大学 | 金 昌 震 | 245 |
| 5. 都市における子育てサポートシステムの機能と課題 | 北海道大学 | 工 藤 遥 | 246 |

民族・エスニシティ (2)

教室 西校舎 513
司会者 稲葉 奈々子 (茨城大学)

- | | | | |
|---------------------------------|-------------------|--------------------|-----|
| 1. ナショナル・アイデンティティの概念図式 | ○早稲田大学
東京女学館大学 | 田 辺 俊 介
濱 田 国 佑 | 247 |
| 2. 嫌韓とナショナリズムに関する研究 | 龍谷大学 | 田 崎 博 也 | 248 |
| 3. 人種主義とイスラモフォビア | 北海道大学 | 樽 本 英 樹 | 249 |
| 4. 韓国における「多文化」の統合と課題 | 東洋大学 | LEE CHON HEE | 250 |
| 5. なぜ「リベラル」はヘイトスピーチ規制を嫌うのか? | 関東学院大学ほか | 明 戸 隆 浩 | 251 |
| 6. 排外主義運動と既成保守 | 徳島大学 | 樋 口 直 人 | 252 |
| 7. 「抵抗」と「自己解放」の民族民衆文化運動と「文化=政治」 | 福山市立大学 | 山 口 健 一 | 253 |

国際・エリアスタディーズ (2)

教室 西校舎 515
司会者 松戸 武彦 (南山大学)

- | | | | |
|----------------------------|----------|---------|-----|
| 1. 民間レベルでの構築された文化への理解 | 大阪市立大学 | 祝 方 悦 | 254 |
| 2. あるディアスポラの知識人による台湾独立運動 | 国際俳句交流協会 | 染 川 清 美 | 255 |
| 3. 現代中国人の「愛国心」に対する再考 | 東京大学 | 江 暉 | 256 |
| 4. 中国の戸籍制度と職業的地位達成 | 首都大学東京 | 佟 彩 霞 | 257 |
| 5. 蛇の中国文明論 | 京都学園大学 | 川 田 耕 | 258 |
| 6. <ミドルクラス>のメディア・イメージとその意味 | 東京大学 | 周 倩 | 259 |

歴史・社会史・生活史 (1)

教室 第一校舎 134
司会者 尾中 文哉 (日本女子大学)

- | | | | |
|-----------------------------|----------|---------|-----|
| 1. 「試験」からみた比較歴史社会学の方法 | 帝京大学 | 大 川 清 丈 | 260 |
| 2. 1900～30年代における「更年期女性」像の形成 | お茶の水女子大学 | 原 葉 子 | 261 |
| 3. “祖国日向”と“南国宮崎” | 関西学院大学 | 長 谷 川 司 | 262 |
| 4. 「混血児問題」における問題の所在 | 神戸大学大学院 | 岡 村 兵 衛 | 263 |
| 5. 総体性をめぐる歴史社会学の方法 | 首都大学東京 | 稲 葉 年 計 | 264 |
| 6. 「対立」と「和解」 | 九州大学 | 福 井 令 恵 | 265 |

English Session (3)(Care and Population)

Place : 西校舎 514

Chairperson: Hiroshi Kojima (Waseda University)

1. Social Attitudes toward Indonesian Care Workers	Momoyama Gakuin University	Chika Shinohara 266
2. Social Attitudes toward Indonesian Care Workers: News Reporting on EPA and Examinations in Indonesia	BINA NUSANTARA UNIVERSITY	MUTIARA MEDIAN 267
3. Planning Fertility: The Embryonic stages of Medicalization in Australia	JSPS Reserch Fellow	Tomoko Fujita 268
4. Internal Migration and the Renovation-Era Fertility Decline in Vietnam		Phan Ly Dieu 269
5. Socioeconomic Differentials in Declining Marriage Rates in Taiwan: A rebuttal to common-sense myth		Yen-hsin Alice Cheng 270

English Session (4)

Place : 西校舎 516

Chairperson: Chiho Ogaya (Yokohama National University)

1. Ritualizing the Nation through railway building: Defining the modern state, democracy and citizenship in modern Japan (1885-1936)	Chinese University of Hong Kong	Yukman Cheung 271
2. Understanding the Self, Understanding the Future? The Politics of Identity of Japanese-Filipino Children (JFC) in Japan	Waseda University	Jocelyn O. Celero 272
3. Lessons from Uttar Pradesh and Bihar: Sport Development Initiatives and the Potential for India's Sociologies of Sport	L N Mithila University	Tewari Sanjay 273
4. Of Agency and Entrapment: Analyzing the Narratives of Women Formerly on Death Row in the Philippines	De La Salle University and Ateneo de Manila University	Diana Therese M. Veloso 274
5. Heterogeneity of Bodily Sensation in Practice	Kwansei Gakuin University	Akira Kurashima 275

ブルデュー以後の社会学 (テーマセッション)

教室
司会者

第一校舎 101
鈴木 智之 (法政大学)

1. ボルトンスキーから見たブルデュー社会学の再構成	慶應義塾大学	小田切 祐詞 276
2. ブルデューの社会的遺産の継承可能性について	東京都市大学	村井 重樹 277
3. ブルデュー受容から社会学理論の構想へ	大阪市立大学	磯 直樹 278
4. ブルデュー社会学と美術史研究	神奈川工科大学	三浦 直子 279
5. ブルデュー以後の文学社会学	慶應義塾大学	松下 優一 280

ソーシャル・キャピタル論のフロンティア (テーマセッション)

教室
司会者

第一校舎 102
小林 盾 (成蹊大学)

1. ソーシャルキャピタルは絆か、しがらみか	関西大学	安田 雪 281
2. 国際結婚における日本人女性のソーシャル・キャピタル	中央大学	開内 文乃 282
3. 文化資本獲得と社会関係資本形成との関係性	信州大学	辻 竜平 283
4. 現代都市における「ソーシャル・キャピタル」の生成実践	高崎経済大学	石井 清輝 284
5. 2つのソーシャル・キャピタル概念	成蹊大学	渡邊 大輔 285
6. Toward Clearer Conceptualization and Theorization of Social Capital	東北大学	佐藤 嘉倫 286
7. Challenge and Significance of Social Capital Research	東京工業大学	今田 高俊 287

リスク社会論再訪（研活テーマセッション）

教室 第一校舎 111
司会者 小松 丈晃（北海道教育大学函館校）

- | | | | |
|-------------------------|-------|-------|-----|
| 1. リスク社会論という虚構 | 山形大学 | 伊藤 嘉高 | 288 |
| 2. 科学論の社会理論的検討 | 筑波大学 | 川山 竜二 | 289 |
| 3. 「残余リスク」 | 法政大学 | 佐藤 成基 | 290 |
| 4. 津波被災地における健康リスクと保健師職能 | 東北大学 | 板倉 有紀 | 291 |
| 5. 防災対策をどう進めるか | 名古屋大学 | 田中 重好 | 292 |
| 6. 「無知の知」の現代的再考 | 東北大学 | 正村 俊之 | 293 |

社会学と文学のあいだ（研活企画フォーラム）

教室 西校舎 519
コーディネーター 奥村 隆（立教大学） 294

対話者：井上俊

企画者：寺田征也（東北大学）、鈴木洋仁（東京大学）、高橋かおり（早稲田大学）

招待講演

教室 西校舎 528
司会者 油井清光（学会賞委員会委員長）
青木秀男（学会賞委員会副委員長）

講演者：本年度日本社会学会奨励賞の受賞者

(1) 石岡丈晃（北海道大学）「貧困の刻印——ボクシングジムから見るマニラの都市底辺」

受賞作品（著書の部）：『ローカルボクサーと貧困世界——マニラのボクシングジムにみる身体文化』（世界思想社，2012年）

(2) 鶴見太郎（日本学術振興会・ニューヨーク大学）「『ロシア・シオニズムの想像力』のなかの社会学」

受賞作品（著書の部）：『ロシア・シオニズムの想像力——ユダヤ人・帝国・パレスチナ』（東京大学出版会，2012年）

(3) 益田仁（長崎国際大学）「労働・希望・貧困の文化」

受賞作品（論文の部）：「若年非正規雇用労働者と希望」（『社会学評論』63巻1号，2012年）

第二日 (10月13日)

一般研究報告 (3) (9時30分～12時30分)

学史・学説 (3)

教室 第一校舎 103
司会者 葛山 泰央 (筑波大学)

- | | | | |
|---------------------------------------|---------|-------|-----|
| 1. 哀れみと親密圏 | 名古屋産業大学 | 高橋 陽子 | 295 |
| 2. 性格と公共性 | 東京大学 | 高田 正哉 | 296 |
| 3. 会話場面における社会・文化的文脈 | 成蹊大学 | 青山 陽子 | 297 |
| 4. ミシェル・フーコー『知の考古学』における諸実践の諸関係についての分析 | 日本大学 | 渡辺 彰規 | 298 |
| 5. 「状況の定義」と他者認知 | 東北大学 | 木村 雅史 | 299 |

研究法・調査法 (2)

教室 第一校舎 105
司会者 吉田 崇 (静岡大学)

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----|
| 1. ダミー変数と回帰係数 | 九州大学 | 鈴木 讓 | 300 |
| 2. アンケート調査の両義性 | 東京大学大学院 | 見田 朱子 | 301 |
| 3. 社会調査における社会的ジレンマのとらえ方 | 中央大学 | 篠木 幹子 | 302 |
| 4. 回収率 70% への挑戦 | ○成蹊大学
芝浦工業大学
成蹊大学
成蹊大学 | 小林 盾
武藤 正義
渡邊 大輔
香川 めい | 303 |
| 5. 郵送調査における早期回答者と後期回答者の回答差について | 茨城大学 | 小島 秀夫 | 304 |
| 6. 返送時期による郵送調査の回答の差異 | ビデオリサーチ | 朝倉 真粧美 | 305 |

家族 (3)

教室 第一校舎 106
司会者 永野 由紀子 (専修大学)

- | | | | |
|-----------------------|--------|-------|-----|
| 1. 瀬戸内漁民と口承文化 | 早稲田大学 | 武田 尚子 | 306 |
| 2. 鋳物業同族団の技術的系譜関係 | 東海大学 | 高木 俊之 | 307 |
| 3. 家族農業労働の編成とジェンダー | 京都大学 | 芦田 裕介 | 308 |
| 4. 近代日本における「家族」概念の構成 | 慶應義塾大学 | 本多 真隆 | 309 |
| 5. 都市における農の活動とネットワーク化 | 愛知県立大学 | 松宮 朝 | 310 |

地域社会・地域問題 (2)

教室 第一校舎 107
司会者 原田 謙 (実践女子大学)

- | | | | |
|---------------------------------|--------|--------|-----|
| 1. 社会関係資本は「限界集落」を救えるか? (1) | 東京大学 | 姫野 宏輔 | 311 |
| 2. 社会関係資本は「限界集落」を救えるか? (2) | 東京大学 | 常松 淳 | 312 |
| 3. 社会関係資本は「限界集落」を救えるか? (3) | 東京大学 | 赤川 学 | 313 |
| 4. 多様化する高齢期のライフスタイルと生きがい | 千葉大学 | 綿貫 登美子 | 314 |
| 5. 「高齢者のための高齢者による」コミュニティデザインの研究 | 千葉商科大学 | 田中 美子 | 315 |

産業・労働・組織 (2) (労働・階層) 教室 第一校舎 108
司会者 橋本 健二 (早稲田大学)

- | | | | |
|--|-------------|---------|-----|
| 1. 中小企業労働者における個人主義・集合主義と能力開発活動 | 労働政策研究・研修機構 | 藤本 真 | 316 |
| 2. 初期キャリアの多様化と能力開発経験 | 成蹊大学 | 香川 めい | 317 |
| 3. 社会保障のマクロ効果に関するパネルデータ分析 | 同志社大学 | 柴田 悠 | 318 |
| 4. パートタイム労働者のワーク・ライフ・バランスをめぐるミクロポリティクス | 立命館大学 | 小木曾 由佳 | 319 |
| 5. 富の蓄積と移転 | 東京大学 | 白波瀬 佐和子 | 320 |

社会運動 (3) (3.11 以降の運動) 教室 第一校舎 109
司会者 藤井 敦史 (立教大学)

- | | | | |
|--|-----------------------|-------------------------|-----|
| 1.3.11 以降の運動は市民社会を変えたのか：団体全国調査をもとに (1) | 一橋大学 | 町村 敬志 | 321 |
| 2.3.11 以降の運動は市民社会を変えたのか：団体全国調査をもとに (2) | ○一橋大学
一橋大学
一橋大学 | 菰田 レエ也
佐藤 圭一
金 知栄 | 322 |
| 3.3.11 以降の運動は市民社会を変えたのか：団体全国調査をもとに (3) | ○一橋大学
一橋大学 | 金 善美
佐藤 圭一 | 323 |
| 4.3.11 以降の運動は市民社会を変えたのか：団体全国調査をもとに (4) | ○一橋大学
一橋大学 | 陳 威志
辰 巳智行 | 324 |
| 5.3.11 以降の運動は市民社会を変えたのか：団体全国調査をもとに (5) | インテージ | 村瀬 博志 | 325 |

環境 教室 第一校舎 111
司会者 寺田 良一 (明治大学)

- | | | | |
|------------------------------|-------------------------|-------------------------|-----|
| 1. 温暖化政策の政策形成過程と政策ネットワーク (1) | ○上智大学
一橋大学
横浜国立大学 | 池田 和弘
佐藤 圭一
藤原 文哉 | 326 |
| 2. 温暖化政策の製作形成過程と政策ネットワーク (2) | 一橋大学 | 辰 巳智行 | 327 |
| 3. 温暖化政策の政策形成過程と政策ネットワーク | 明治大学 | 野沢 淳史 | 328 |
| 4. 再生紙を使っても温暖化対策にならない？ | 関西学院大学 | 立石 裕二 | 329 |
| 5. 広域環境問題をめぐる運動組織間の連携の形成過程 | 東京大学 | 藤田 研二郎 | 330 |
| 6. 無作為抽出型の市民参加と環境ガバナンス | 北海道大学 | 三上 直之 | 331 |

災害 (4) (東日本大震災の被災地域) 教室 第一校舎 131-A
司会者 田中 重好 (名古屋大学)

- | | | | |
|-----------------------------------|--------------------------|-------------------------|-----|
| 1. 東日本大震災における<住民生活を支える諸機能>の再編過程 | ○早稲田大学
早稲田大学 | 浦野 正樹
川副 早央里 | 332 |
| 2. 津波被災地域における住民生活を支える諸機能の再編過程 | ○早稲田大学
早稲田大学 | 野坂 真
浦野 正樹 | 333 |
| 3. 原発事故による避難地域の<住民生活を支える諸機能>の再編過程 | ○早稲田大学
早稲田大学
早稲田大学 | 川副 早央里
浦野 正樹
野坂 真 | 334 |
| 4. 東日本大震災の災害地理 (1) | 政治経済研究所 | 山本 唯人 | 335 |
| 5. 東日本大震災の災害地理 (2) | 一橋大学 | 岩 館 豊 | 336 |
| 6. 東日本大震災犠牲者の被災要因からみた「地域防災の課題」 | ○岩手大学
岩手大学
岩手大学 | 麥 倉 哲
梶原 昌五
高松 洋子 | 337 |

文化・社会意識 (4) (記憶・体験)

教室 第一校舎 131-B
司会者 福間 良明 (立命館大学)

- | | | | |
|---------------------------------|--------|--------|-----|
| 1. 脱構築された自己の帰結に関する一考察 | 武蔵大学 | 徳久 美生子 | 338 |
| 2. 「被爆体験の継承」と広島市行政による「平和」の施策の展開 | 一橋大学 | 根本 雅也 | 339 |
| 3. 公共空間における東京大空襲死者の記憶 | 慶應義塾大学 | 木村 豊 | 340 |
| 4. 祭の継続はどのようにして成り立っているか | 千葉大学 | 伊藤 雅一 | 341 |
| 5. 被災地における祭礼の復興にみられる両義的な変化について | 専修大学 | 田 仲 聡 | 342 |

文化・社会意識 (5)

教室 第一校舎 132
司会者 佐藤 嘉倫 (東北大学)

- | | | | |
|--------------------------|--------|-------|-----|
| 1. 信頼の測定 | 青山学院大学 | 真鍋 一史 | 343 |
| 2. 一般的信頼と高等教育の重層的関係 | 学習院大学 | 数土 直紀 | 344 |
| 3. 一般的信頼は何を測定しているのか? | 立教大学 | 金澤 悠介 | 345 |
| 4. 連帯意識の関係基盤メカニズム | 九州大学 | 三隅 一人 | 346 |
| 5. 地位の非一貫性と階層帰属意識の関係の再検討 | 大阪大学 | 谷岡 謙 | 347 |

教育 (2)

教室 第一校舎 122
司会者 片瀬 一男 (東北学院大学)

- | | | | |
|------------------------------|----------------|-------|-----|
| 1. 青少年の学校生活と学習観 | 青山学院大学 | 小澤 昌之 | 348 |
| 2. フランス都市部郊外の大量地区における移民の家庭教育 | 一橋大学 | 村上 一基 | 349 |
| 3. ナラティブ・エスノグラフィーの実証的研究 | 東京学芸大学 | 二宮 祐子 | 350 |
| 4. 日本の学校英語教育と言語政策の交わるどころ | 早稲田大学／愛知県立高等学校 | 岩村 博史 | 351 |
| 5. 「知性の平等」とメリトクラシー | 帝京大学 | 山口 毅 | 352 |

社会病理・逸脱 (2)

教室 第一校舎 104
司会者 土井 隆義 (筑波大学)

- | | | | |
|---------------------------|-----------------------|--------------------------|-----|
| 1. 液状化するライフコースと「ソーシャルスキル」 | 中央大学 | 古賀 正義 | 353 |
| 2. 若者の「家出」言説の変容 | 京都大学 | 中森 弘樹 | 354 |
| 3. 高校中退経験にみる社会的排除／包摂 | ○一橋大学
一橋大学
一橋大学 | 山田 哲也
飯島 裕子
濱沖 敢太郎 | 355 |
| 4. 生きづらさと、自己表現によるそこからの解放 | 京都造形芸術大学 | 藤澤 三佳 | 356 |
| 5. 日本における「受動喫煙」概念の受容について | 東京学芸大学 | 苦米地 伸 | 357 |
| 6. “食”を拒むことが意味するもの | 法政大学 | 宮下 阿子 | 358 |

福祉・保健・医療 (4) (支援の社会学)

教室 第一校舎 124
司会者 株本 千鶴 (相山女学園大学)

- | | | | |
|--------------------------------|----------|--------|-----|
| 1. ピア・サポートの社会学に向けて | 富山大学 | 伊藤 智樹 | 359 |
| 2. 〈聴く〉場としてのセルフヘルプ・グループ | 駒澤大学 | 荒井 浩道 | 360 |
| 3. 複数のセルフヘルプ・グループをたどり歩くことの意味 | 立教大学 | 福重 清 | 361 |
| 4. 「二人称の死」への物語論的アプローチ・その課題と可能性 | 東京学芸大学 | 水津 嘉克 | 362 |
| 5. 「聴く」ことと「つなぐ」こと | 法政大学 | 佐藤 恵 | 363 |
| 6. 壮年期の逆境的ライフイベントに関するライフコース分析 | 日本福祉大学 | 鈴木 佳代 | 364 |
| 7. 独居高齢者居宅への対話ボランティア訪問の意味 | 高齢者住宅研究所 | 竹内 みちる | 365 |

福祉・保健・医療 (5)

教室 第一校舎 134
司会者 牧園 清子 (松山大学)

- | | | | |
|-------------------------|----------------|--------------------|-----|
| 1. 社会福祉制度とニーズの距離 | 早稲田大学 | 白 井 千 晶 | 366 |
| 2. 社会的養護における集団性と個別性 | 慶應義塾大学／日本学術振興会 | 藤 間 公 太 | 367 |
| 3. 児童養護施設退所者の人的ネットワーク形成 | 首都大学東京 | 久 保 原 大 | 368 |
| 4. 通常分娩後における入院日数短縮論の一考察 | 一橋大学 | 永 山 聡 子 | 369 |
| 5. 臨床試験の語りの「役割」と「困難」 | ○東京大学
東京大学 | 吉 田 幸 恵
武 藤 香 織 | 370 |
| 6. 大腸がん検診の社会学的考察 (1) | 早稲田大学 | 鷹 田 佳 典 | 371 |
| 7. 大腸がん検診の社会学的考察 (2) | 立教大学 | 菅 野 撰 子 | 372 |

性・ジェンダー (3)

教室 西校舎 512
司会者 牟田 和恵 (大阪大学)

- | | | | |
|----------------------------------|---------|---------|-----|
| 1. ダーウィニアン・フェミニズムの射程 | 山口大学 | 高 橋 征 仁 | 373 |
| 2. フェミニズム思想の依存批判は何を問題にしているのか | 東京大学 | 齋 藤 圭 介 | 374 |
| 3. 男女間収入格差の都道府県比較 | 京都大学 | 織 田 暁 子 | 375 |
| 4. オーストラリアの高齢女性のライフヒストリー | 岡山大学 | 野 邊 政 雄 | 376 |
| 5. ジェンダーと「死の商品」(生命保険)のエージェントについて | 名古屋市立大学 | 安 藤 究 | 377 |
| 6. 満洲移民女性に対する戦時性暴力の政治学 | 京都大学 | 猪 股 祐 介 | 378 |

民族・エスニシティ (3)

教室 西校舎 513
司会者 金 明秀 (関西学院大学)

- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------|-----------|-----|
| 1. ニューヨーク市におけるアジア系移民者の定着と近隣組織の受入れ | 天理大学 | 魯 ゼ ウ ォ ン | 379 |
| 2. 「民族学校」の日韓比較研究 | 大谷大学 | 宋 基 燦 | 380 |
| 3. 在日コリアンの若い世代はどのようなリアリティを生きているのか | 筑波大学 | 井 上 恵 子 | 381 |
| 4. 韓国高齢者の年齢差別 (Ageism) の経験に関する研究 | SEOUL NATIONAL UNIVERSITY | 金 珠 賢 | 382 |
| 5. 「在日コリアン」の国籍取得に関する意識 (1) | 広島国際学院大学 | 伊 藤 泰 郎 | 383 |
| 6. 「在日コリアン」の国籍取得に関する意識 (2) | 広島国際学院大学 | 崔 博 憲 | 384 |

民族・エスニシティ (4)

教室 西校舎 527
司会者 酒井 千絵 (関西大学)

- | | | | |
|-----------------------------|-------------------|------------------|-----|
| 1. 文化資本を重視する日本の高学歴外国人労働市場 | ヘルシンキ大学 | HAKKARAINEN NINA | 385 |
| 2. 日本の高度人材受け入れにおける政策的寄与 | 一橋大学 | 松 下 奈 美 子 | 386 |
| 3. 「底辺への競争」に抗するためのコスモポリタニズム | 慶應義塾大学 | 鈴 木 弥 香 子 | 387 |
| 4. 中国系移住者に関する比較社会学的研究 (1) | ○法政大学
山東師範大学 | 田 嶋 淳 子
趙 衛 国 | 388 |
| 5. 中国系移住者の比較社会学的研究 (2) | ○中国山東師範大学
法政大学 | 趙 衛 国
田 嶋 淳 子 | 389 |
| 6. ポスト人口転換社会における国際移民 | 国立社会保障・人口問題研究所 | 是 川 夕 | 390 |

国際・エリアスタディーズ (3)

教室 西校舎 515
司会者 石川 晃弘

- | | | | | |
|-------------------------------------|---------|-----|-------|-----|
| 1. 受け入れ統合契約における統合のビジョンと対象者像 | 慶應義塾大学 | 田 畠 | 佑 実 子 | 391 |
| 2. 現代ロシアにおけるロシア正教会とナショナル・アイデンティティ | 創価大学 | 宮 川 | 真 一 | 392 |
| 3. ポスト社会主義地域の公共性とボランティアな活動 | 北九州市立大学 | 神 原 | ゆ う こ | 393 |
| 4. 「大学改革」による旧東ドイツ社会科学者のキャリア転換と適応の過程 | 東京大学 | 飯 島 | 幸 子 | 394 |
| 5. 後期東ドイツの文学作品におけるメッセージ性の不在 | 専修大学 | 矢 崎 | 慶 太 郎 | 395 |
| 6. ファシズムの体験学習の試み | 甲南大学 | 田 野 | 大 輔 | 396 |

歴史・社会史・生活史 (2)

教室 第一校舎 110
司会者 長谷 正人 (早稲田大学)

- | | | | | |
|----------------------------------|-----------|-----|-----|-----|
| 1. テレビにおける「農業・農村」表象とその構築プロセス (1) | ○静岡文化芸術大学 | 船 戸 | 修 一 | 397 |
| | 滋賀県立大学 | 武 田 | 俊 輔 | |
| | 静岡文化芸術大学 | 加 藤 | 裕 治 | |
| | 東京大学 | 祐 成 | 保 志 | |
| 2. テレビにおける「農業・農村」表象とその構築プロセス (2) | ○東京大学 | 祐 成 | 保 志 | 398 |
| | 静岡文化芸術大学 | 船 戸 | 修 一 | |
| | 滋賀県立大学 | 武 田 | 俊 輔 | |
| | 静岡文化芸術大学 | 加 藤 | 裕 治 | |
| 3. テレビにおける「農業・農村」表象とその構築プロセス (3) | ○静岡文化芸術大学 | 加 藤 | 裕 治 | 399 |
| | 滋賀県立大学 | 武 田 | 俊 輔 | |
| | 静岡文化芸術大学 | 船 戸 | 修 一 | |
| | 東京大学 | 祐 成 | 保 志 | |
| 4. テレビにおける「農業・農村」表象とその構築プロセス (4) | ○滋賀県立大学 | 武 田 | 俊 輔 | 400 |
| | 静岡文化芸術大学 | 加 藤 | 裕 治 | |
| | 東京大学 | 祐 成 | 保 志 | |
| | 静岡文化芸術大学 | 船 戸 | 修 一 | |
| 5. 映像はいかに地域に普及したか | 新潟大学 | 原 田 | 健 一 | 401 |
| 6. 石炭産業の終焉はいかに記録／記憶されたか | 甲南女子大学 | 木 村 | 至 聖 | 402 |

English Session (5)

Place : 西校舎 514
Chairperson: Takayuki Sasaki (Osaka University of Commerce)

- | | | | |
|--|--|-----------------------|-----|
| 1. The Marginalized Majority | Universität Hamburg | Eva F. Nisa | 403 |
| 2. Online Networking as Transnational Survival Strategy: Islamic-writing movement of Indonesian female domestic workers in Hong Kong | ○Tenri University | Shiho Sawai | 404 |
| | University of Albany, State University of New York | Djoko Sayogo | |
| 3. Business Network, Entrepreneurship, and Survival Strategy of Indonesian Migrants Related To The Cross Border Marriage | University of Indonesia | Andrio A. Muktiwibowo | 405 |
| 4. Yiguan Dao in Japan | Hokkaido University | KA SHING NG | 406 |
| 5. Interactions between Overseas Chinese Associations and Tourism Industry in Yokohama Chinatown from 2002-2012 | THE CHINESE UNIVERSITY OF HONG KONG | WONG YE E LAM | 407 |
| | THE CHINESE UNIVERSITY OF HONG KONG | LIM TAI WEI | |
| 6. The Final Coal Mines in Japan: A Historical Overview of the Gentrification of Former Coal Mines | THE CHINESE UNIVERSITY OF HONG KONG | LIM TAI WEI | 408 |

English Session (6)(Culture)

Place : 西校舎 516

Chairperson:Thompson Lee Austin(Waseda University)

- | | | | |
|---|------------------------------|---------------------|-----|
| 1.Ottomania and Japanmania in Comparative Perspective | Koç University | E R G I N M u r a t | 409 |
| 2.Asian Values Revisited after 20 Years: | The University of Tokyo | 翟 一 達 | 410 |
| 3.Life Satisfaction and Adaptation of Chinese Immigrants in Japan | Waseda University | Z h a n g J i e | 411 |
| 4.Educational Outcomes of Children of Japanese-Filipino Marriages in Oita Prefecture Japan | D e L a S a l l e University | Melvin A. Jabar | 412 |
| 5.The Role of Cultural Institutions under the New Consumption Circulation of Digitized Cultural Contents: Focusing on Google's Digitization Project | Seoul National University | P i l J o o J u n g | 413 |
| 6.A geopolitical framework theory on "Culture II" in the peaceful societies that have no kings Ver.2 | K a g o s h i m a University | 桜 井 芳 生 | 414 |

「メディアとしてのマンガ」研究と社会学（テーマセッション）

教室 第一校舎 101

司会者 雑賀 忠宏（神戸大学）

- | | | | |
|--------------------------|---------|---------|-----|
| 1. 創作する自己と自伝性の社会学 | 椋山女学園大学 | 鎌 田 大 資 | 415 |
| 2. コンテンツのトランスナショナルな制作と受容 | 花園大学 | 秦 美 香 子 | 416 |
| 3. メディアとしてのカートゥーン | 東京情報大学 | 茨 木 正 治 | 417 |

歴史のなかの貧困と社会的包摂（テーマセッション）

教室 第一校舎 102

司会者 相澤 真一（中京大学）

- | | | | |
|--------------------------------------|---------|-----------|-----|
| 1. 植民地統治と社会的包摂・排除 | 中京大学 | 大 友 昌 子 | 418 |
| 2. 敗戦後社会における浮浪児、孤児・捨児問題と社会的包摂の論理 | 東京大学 | 土 屋 敦 | 419 |
| 3. 敗戦後日本社会における被保護世帯の人口学的分析 1946-1952 | 日本学術振興会 | 小 山 裕 | 420 |
| 4. 分配的ディレンマ再論 | 東京大学 | 榊 原 賢 二 郎 | 421 |

日中における社会学と社会の現在（日中ジョイントパネル）

教室 西校舎 519

司会者 首藤 明和（兵庫教育大学）

日本側報告者：片桐 雅隆（千葉大学）

Contemporary Japanese Social Theory:

As compared with Western Sociological Theory（使用言語・英語）

中村 則弘（愛媛大学）

世界システムを超えて——ローカルな結びつきのもつ可能性（使用言語・中国語と日本語）

中国側報告者：陸 小聰 Lu Xiacong 上海大学 Shanghai Univeristy

Present Situation of Society in China（使用言語・中国語）

高 和榮 Gao Herong 厦門大学 Xiamen University

Construction of Social Security System in China during 21 Century（使用言語・中国語）

コメンテーター：南 裕子（一橋大学）

西原和久（成城大学）

ポスターセッション (10月13日(日) 10時00分～12時30分)

教室 第一校舎 133

1. 近江商人のエートスと青年会規約	龍谷大学	窪田和美	422
2. 戦中から昭和30年代における公営結婚相談所の実態と役割	兵庫県立大学	佐藤宏子	423
3. 伝統的自治システムの現代的意味に関する考察	四国学院大学	佐藤友光子	424
4. 相対的剥奪の実証研究	関西学院大学	中野康人	425
5. デジタル・メディアとネットワーキング	大妻女子大学	干川剛史	426
6. 奥井復太郎と永井荷風	慶應義塾大学	山岸健	427
7. 「体験談」という体験	中央大学	亀山聖未	428
8. グローバル化とポスト近代化における職場管理	文京学院大学	高木裕宜	429
9. 農家経営における再生可能エネルギーの生産の新たな可能性の考察	岩手県立大学	劉文静	430
10. 中山間地域の営農と集落の維持に向けた地域参加型研究の実践と課題	○奈良女子大学 奈良女子大学	帯谷博明 水垣源太郎	431
11. ベンチャー企業経営者の働きすぎの研究	奈良女子大学 中央大学	寺岡伸悟 前島賢士	432
12. 「女性文化人」の系譜1	頌栄短期大学	高山育子	433
13. 権利としての「死」	兵庫大学	牧田満知子	434
14. Aggregation of correlated judgments on multiple interconnected propositions	○日本学術振興会/ 総合研究大学院大学 総合研究大学院大学	関口卓也 大槻久	435
15. 臨時災害放送局からコミュニティ放送への移行を支えるもの	東北大学	寺田征也	436
16. 親による子どもに対する指示についての会話分析的研究	日本学術振興会	戸江哲理	437
17. リベラルアーツ教育における質的調査教育	○上智大学 一橋大学	中野佑一 川口遼	438
18. 女性牧畜民のチーズ生産と生活の変容——中国内モンゴル自治区フベートシャラホショーの事例——	東北大学	何淑珍	439
19. 不可視化される「生きづらさ」	聖心女子大学	吉村さやか	440
20. 学際連携のための形態素解析を用いた思考可視化 ICT ツールの開発	○東京工業大学 株式会社ダウンゴ 東京大学 大阪大学	萱間隆 矢野雅 小泉太亮 高田哉 田口了麻	441
21. ヤクザと「リゾーム」の権力論	九州大学大学院	大山智徳	442
22. ファンとは誰か	甲南女子大学	池田太臣	443
23. The Smartphone Use of Korean Young People	National Youth Policy Institute in Korea	C h a n g h o Lee	444

国際社会学会副会長講演 (10月13日(日) 13時10分～13時50分)

Tina UYS (University of Johannesburg)

教室：西校舎 517

445

シンポジウム (10月13日(日) 14時00分～17時30分)

シンポジウム1 ポスト3.11の社会学——東日本大震災後の日本社会に対して、
社会学者は何をなし得るか

教室 西校舎 527

司会者 浅川達人 (明治学院大学)

黒田由彦 (名古屋大学)

1. 社会学研究者による「震災関連研究・支援活動」——メタデータの
取りまとめを通してみた研究活動の概要 大阪商業大学 岩井 紀子 446
2. 原発震災と制御可能性——どのような取り組み態勢の構築が必要か 法政大学 船橋 晴俊 447
3. 津波被災地における復興と土地問題 岩手県立大学 吉野 英岐 447
4. 東日本大震災と災害社会学 山口大学 横田 尚俊 448

討論者：饗庭伸 (首都大学東京)、外谷英樹 (名古屋市立大学)

シンポジウム2 リサーチ・ヘリテージ——20世紀の調査遺産をいかに継承する
のか

教室 西校舎 528

司会者 中澤秀雄 (中央大学)

小林多寿子 (一橋大学)

1. 大規模社会調査データの保存・公開・活用 東京大学 石田 浩 449
2. なぜ資(史)料を残すのか——『アーカイヴァル・エポケー』を超えて 法政大学 堀川 三郎 451
3. 社会調査史の多層性 東京大学 祐成 保志 453

討論者：武田尚子 (早稲田大学)、森岡清美

日本学術会議主催シンポジウム「モダニティの再規定——ポスト近代を超える時代
認識」

教室 西校舎 526

司会者 友枝 敏雄 (大阪大学)

1. 哲学のサブジェクト転換——ポスト近代社会における「レジリアン
トな個」の再生 京都大学 齋藤 直子 455
2. 近代化論の可能性——外なる近代から内なる近代へ 東京大学 佐藤 俊樹 457
3. ロスト近代の時代認識とその思想資源 北海道大学 橋本 努 459

討論者：盛山和夫 (日本学術会議第一部連携会員、関西学院大学社会学部教授)、山田真茂留 (日本学術会議
第一部特任連携会員、早稲田大学文学学術院教授)